

## 別添 2

照会時における住基ネットの検索仕様／照会結果 CSV ファイル仕様  
について

1.00 版  
2016 年 5 月 20 日

# 目次

1 本書の目的	1
1.1 目的	1
2 住基ネットの検索仕様	4
2.1 処理フロー	4
2.1.1 抽出条件編集	6
2.1.2 本人確認情報検索	7
2.1.3 抽出データ照合	8
2.2 照会手順の例	10
2.2.1 照会手順の例における前提条件	10
2.2.2 処理の例	11
2.3 本人確認情報の提供パターンについて	15
2.4 「照会要求 CSV ファイル」作成時の留意事項	16
3 「照会結果 CSV ファイル」のファイル仕様	17
3.1 医療保険者等に返却される CSV ファイルの種類について	17
3.2 「照会結果 CSV ファイル」	18
3.2.1 ファイル名	18
3.2.2 レコードレイアウト	18
3.2.3 本人確認情報に外字が含まれる場合の返却データについて	35
3.3 桁あふれ情報結果 CSV ファイル	36
3.3.1 ファイル名	36
3.3.2 レコードレイアウト	36
3.3.3 桁あふれ情報に外字が含まれる場合の返却データについて	38
3.4 コード定義書	39
3.4.1 年号	39

3.4.2	月	40
3.4.3	日	41
3.4.4	性別	42
3.4.5	異動事由	43
3.4.6	処理結果コード	44
3.4.7	生存状況	45
3.4.8	変更状況	46
3.4.9	異動有無	47
3.4.10	照会一致項目フラグ	48

# 1 本書の目的

## 1.1 目的

「住基ネットの検索仕様／照会結果 CSV ファイル仕様について」（以下「本書」という。）は、住基ネットにおける住民票情報（以下「本人確認情報」（※）という。）の検索仕様、並びに支払基金から返却される「照会結果 CSV ファイル」のファイル仕様を医療保険者等に示すことを目的とする。

※本人確認情報には個人番号が含まれる

なお、本書は、以下の J-LIS 文書をもとに作成している。

- ✓ 「一括提供方式による情報提供外部インタフェース仕様書（関係省庁版） 第 5.2 版（平成 27 年 10 月）」  
（以下「外部 IF 仕様書」という。）
- ✓ 「一括提供用ファイル作成ツール操作手順書（関係省庁版） 第 2.1 版（平成 27 年 10 月）」  
（以下「ツール操作手順書」という。）

上記文書から引用した図表について以下に示す。

表 1-1 本書図表に係る J-LIS 文書からの引用箇所

項番	本書の図表	引用元
1	図 2-1 情報照会手順	外部 IF 仕様書「図 4-2 4 情報照会手順」 ※情報の追記あり
2	表 2-1 本人確認情報検索パターン	外部 IF 仕様書「表 4-18 本人確認情報検索パターン」
3	表 2-2 住基ネットの本人確認情報（★は外字、□は空白）	外部 IF 仕様書「表 4-19 全国センターの本人確認情報（★は外字、□は空白）」
4	表 2-3 照会条件項目（□は空白）	外部 IF 仕様書「表 4-20 照会条件項目（□は空白）」
5	表 2-4 照会一致項目	外部 IF 仕様書「表 4-21 照会一致項目」
6	表 2-5 提供パターン別の提供情報	外部 IF 仕様書「表 4-22 提供パターン別の提供情報」
7	表 3-1 照会結果 CSV ファイルのレコードレイアウト	ツール操作手順書「表 5-12 4 情報検索結果 CSV ファイル」 ※情報の追記あり
8	表 3-2 提供パターン（4 情報一致・最新）の処理結果コード	外部 IF 仕様書「表 4-24 提供パターン（4 情報一致・最新）の処理結果コード」

項番	本書の図表	引用元
9	図 3-1 照会結果レコード設定	外部 IF 仕様書「図 2-10 照会結果レコード設定」 ※上記図を参考に作図
10	図 3-2 提供パターンが「4 情報一致・最新」のファイル構成（処理結果コードが「該当有り」（0000）の場合）	外部 IF 仕様書「図 4-7 提供パターンが「4 情報一致・最新」のファイル構成（処理結果＝「該当有り」）」 ※上記図を参考に作図
11	図 3-3 提供パターンが「4 情報一致・最新」のファイル構成（処理結果コードが「複数該当」（0002）の場合）	外部 IF 仕様書「図 4-8 提供パターンが「4 情報一致・最新」のファイル構成（処理結果＝「複数該当」）」 ※上記図を参考に作図
12	図 3-4 照会一致項目設定イメージ	外部 IF 仕様書「図 4-1 照会一致項目設定イメージ」
13	表 3-3 照会一致項目フラグ	外部 IF 仕様書「表 4-2 照会一致項目フラグ」
14	表 3-4 4 情報照会可能な項目の組合せ	外部 IF 仕様書「表 4-1 4 情報照会可能な項目の組合せ」
15	表 3-5 照会一致項目設定値（対象者氏名）日本人住民	外部 IF 仕様書「表 4-3 照会一致項目設定値（氏名漢字）日本人住民」
16	表 3-6 照会一致項目設定値（対象者氏名）外国人住民	外部 IF 仕様書「表 4-4 照会一致項目設定値（氏名漢字）外国人住民」
17	表 3-7 照会一致項目設定値（対象者氏名（かな））日本人住民	外部 IF 仕様書「表 4-5 照会一致項目設定値（氏名かな）日本人住民」
18	表 3-8 照会一致項目設定値（対象者氏名（かな））外国人住民	外部 IF 仕様書「表 4-6 照会一致項目設定値（氏名かな）外国人住民」
19	表 3-9 照会一致項目設定値（対象者氏名＋対象者氏名（かな））日本人住民	外部 IF 仕様書「表 4-7 照会一致項目設定値（氏名（漢字）＋氏名（かな））日本人住民」
20	表 3-10 照会一致項目設定値（対象者氏名＋対象者氏名（かな））外国人住民	外部 IF 仕様書「表 4-8 照会一致項目設定値（氏名（漢字）＋氏名（かな））外国人住民」
21	表 3-11 照会一致項目設定値（生年月日）	外部 IF 仕様書「表 4-9 照会一致項目設定値（生年月日）」
22	表 3-12 照会一致項目設定値（性別）	外部 IF 仕様書「表 4-10 照会一致項目設定値（性別）」
23	表 3-13 照会一致項目設定値（住所）	外部 IF 仕様書「表 4-11 照会一致項目設定値（住所）」
24	表 3-14 かな氏名、清音かな氏名に関する照会一致項目	外部 IF 仕様書「表 4-12 かな氏名、清音かな氏名に関する照会一致項目」

項番	本書の図表	引用元
25	表 3-15 住所に関する照会条件と処理内容	外部 IF 仕様書「表 4-13 住所に関する照会条件と処理内容」
26	表 3-16 ケース 1 の住所に関する照会一致項目	外部 IF 仕様書「表 4-14 ケース 1 の住所に関する照会一致項目」
27	表 3-17 ケース 2 の住所に関する照会一致項目	外部 IF 仕様書「表 4-15 ケース 2 の住所に関する照会一致項目」
28	表 3-18 ケース 3 の住所に関する照会一致項目	外部 IF 仕様書「表 4-16 ケース 3 の住所に関する照会一致項目」
29	表 3-19 ケース 4 の住所に関する照会一致項目	外部 IF 仕様書「表 4-17 ケース 4 の住所に関する照会一致項目」
30	表 3-20 桁あふれ情報結果 CSV ファイルのレコードレイアウト	ツール操作手順書「表 5-14 桁あふれ情報結果 CSV ファイル」 ※情報の追記あり
31	3.4 コード定義書 3.4.1 年号 3.4.2 月 3.4.3 日 3.4.4 性別 3.4.5 異動事由 3.4.6 処理結果コード 3.4.7 生存状況 3.4.8 変更状況 3.4.9 異動有無 3.4.10 照会一致項目フラグ	外部 IF 仕様書「3.2 コード定義書」 (1) 年号 (2) 月 (3) 日 (4) 性別 (5) 異動事由 (7) 処理結果コード (8) 生存状況 (9) 変更状況 (10) 異動有無 (17) 照会一致項目フラグ

## 2 住基ネットの検索仕様

本章では、住基ネットでの本人確認情報の照会時におけるデータ検索の仕組みについて示す。

### 2.1 処理フロー

本人確認情報の照会時における照会手順の概要を以下に示す。

「抽出条件編集」、「本人確認情報検索」、「抽出データ照合」の処理内容については、本節において後述する。

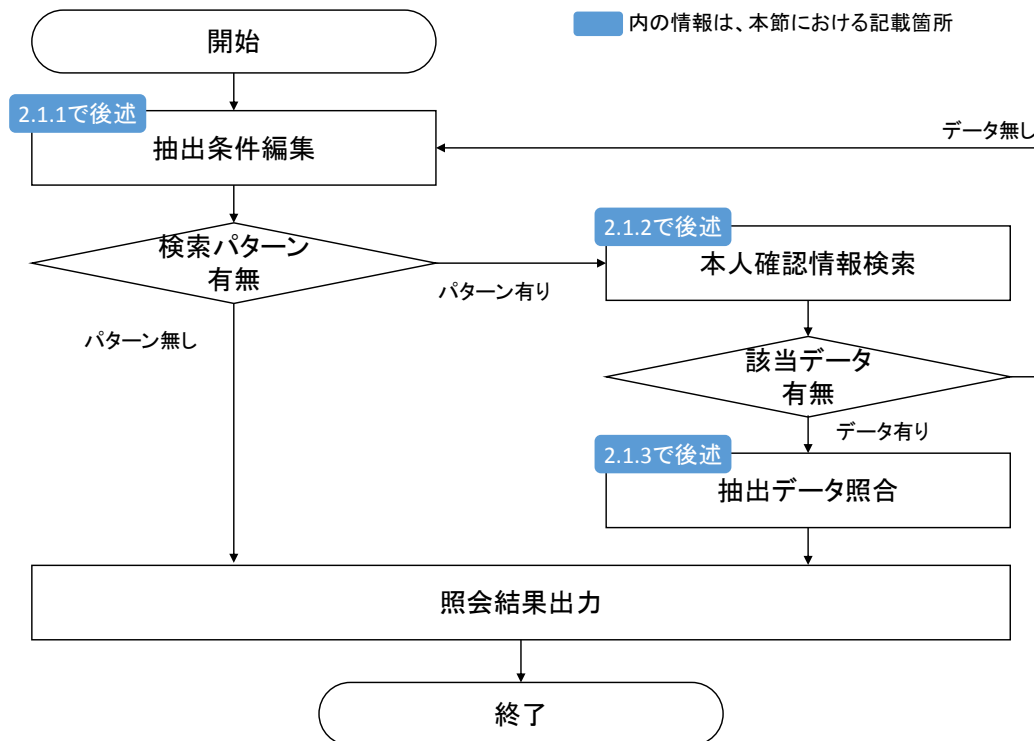


図 2-1 情報照会手順

重要なポイントとして、住基ネットでのデータ検索においては、該当するデータが見つかるまで「検索パターン」を変えて本人確認情報の検索を繰り返す。「検索パターン」とは、基本 4 情報を用いて住基ネットに照会を行う際の、照会項目及び検索条件の組合せパターンのことである。一つ一つのパターンには番号が付与されており、照会条件との正確な一致を確認するパターンから、曖昧な一致を確認するパターンまで、以下のとおり全 35 種類のパターンが存在する。

つまり、ある「検索パターン」で該当する本人確認情報が見つからなかった際には、条件がより曖昧な別の「検索パターン」

で再検索が行われ、再検索を行うパターンがなくなるまで繰り返される。

表 2-1 本人確認情報検索パターン

	検索 パターン番号	レコード抽出条件										再検索時 検索パターン番号
		対象者氏名		対象者氏名(かな)		清音かな		生年月日	性別	住所	市町村 コード	
		日本人 住民	外国人 住民	日本人 住民	外国人 住民	日本人 住民	外国人 住民					
対象者氏名および かな指定	1	○	◎	○	◎	-	-	○	○	○	○	25
	2	○	◎	○	◎	-	-	○	-	○	○	25
	3	○	◎	○	◎	-	-	○	○	-	-	27
	4	○	◎	○	◎	-	-	○	-	-	-	27
	5	○	◎	○	◎	-	-	-	○	○	○	28
	6	○	◎	○	◎	-	-	-	-	○	○	28
対象者氏名 のみ指定	7	○	◎	-	-	-	-	○	○	○	○	30
	8	○	◎	-	-	-	-	○	-	○	○	30
	9	○	◎	-	-	-	-	○	○	-	-	10
	10	○	◎	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	11	○	◎	-	-	-	-	-	○	○	○	34
	12	○	◎	-	-	-	-	-	-	○	○	34
対象者氏名(かな) のみ指定	13	-	-	○	◎	○	◎	○	○	○	○	19
	14	-	-	○	◎	○	◎	○	-	○	○	19
	15	-	-	○	◎	○	◎	○	○	-	-	22
	16	-	-	○	◎	○	◎	○	-	-	-	22
	17	-	-	○	◎	○	◎	-	○	○	○	23
	18	-	-	○	◎	○	◎	-	-	○	○	23
あいまい検索1	19	-	-	-	-	○	◎	○	-	●	○	20
	20	-	-	-	-	○	◎	○	-	-	○	21
	21	-	-	-	-	○	◎	○	-	-	-	-
	22	-	-	-	-	○	◎	○	-	-	-	-
	23	-	-	-	-	○	◎	-	-	●	○	24
	24	-	-	-	-	○	◎	-	-	-	○	-
あいまい検索2	25	-	-	-	-	○	◎	○	-	●	○	26
	26	-	-	-	-	○	◎	○	-	-	○	27
	27	-	-	-	-	○	◎	○	-	-	-	33
	28	-	-	-	-	○	◎	-	-	●	○	29
	29	-	-	-	-	○	◎	-	-	-	○	34
あいまい検索3	30	○	◎	-	-	-	-	○	-	●	○	31
	31	○	◎	-	-	-	-	○	-	-	○	32
	32	○	◎	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	33	○	◎	-	-	-	-	○	-	-	-	-
	34	○	◎	-	-	-	-	-	-	●	○	35
	35	○	◎	-	-	-	-	-	-	-	○	-

(凡例) 完全一致検索：○ 前方一致検索：● 部分一致検索：◎ 指定なし：-  
外国人住民の氏名には「アルファベット氏名」、「漢字氏名」、「通称」が含まれるため部分一致検索を行う



## 2.1.1 抽出条件編集

抽出条件編集とは、住基ネットにおいて照会条件として設定された基本4情報の内容を踏まえて決定される検索パターンに基づき、照会条件のデータを編集する処理のことである。

### 2.1.1.1 「対象者氏名（かな）」の清音化

照会条件の「対象者氏名（かな）」の項目が設定されている場合は、清音化を行う。

例)「じゅうみん たろう」→「しゅうみん たろお」

### 2.1.1.2 住所の前方一致

照会条件の「住所」の項目が設定されている場合は、前方一致検索が行えるように編集する。

- ・市町村名（郡名まで）は、市町村コードマスタより抽出された市町村名の桁数分を取得する。
- ・町字名は、照会項目より市町村名以降2文字を取得する。  
例)「東京都千代田区一番\*」
- ・照会条件に「大字」をふくむ場合は、「大字」以降2文字を取得する。  
例)「埼玉県上尾市大字小敷\*」
- ・「住所」に外字が含まれる場合は、外字が出現する前の文字までを取得する。

### 2.1.1.3 生年月日

住民基本台帳上の生年月日には年号が含まれているため、生年月日は年号を除いて検索が行えるように編集する。

## 2.1.2 本人確認情報検索

編集した抽出条件をもとにデータベースを検索し、該当する本人確認情報を抽出する。

### 2.1.3 抽出データ照合

抽出された本人確認情報に対し「対象者氏名」、「対象者氏名（かな）」、「住所」の照合を行う。

以下に抽出データ照合のイメージを示す。

なお、「(比較照合)」の例においては、左側（または上側）が照会条件の例、右側（または下側）が住基ネットで保持する本人確認情報の例とする。また、「★」は住基ネットで保持している本人確認情報に含まれる外字、「□」は空白を指す。

#### 2.1.3.1 「対象者氏名」を比較する。

(ア) 文字列全体を比較照合する。

(比較照合)

「住民□太郎」 <-> 「住★□太★」

(照会結果)

「対象者氏名」 = 不一致

(イ) 文字列全体を比較照合した結果、「不一致」となった場合、一文字ずつ比較する。

(比較照合)

「住民□太郎」 <-> 「住★□太★」

(照会結果)

「対象者氏名」 = 外字以外は一致、外字のみ不一致

(ウ) 「(ア)・(イ)」に該当しない場合で、外国人住民の場合は、部分一致の比較照合を行う。

(比較照合)

「ZHANG YULIAN\_張 玉連 (山田 花)」 <-> 「山田」

(照会結果)

「対象者氏名」 = 部分一致

(エ) 「(ウ)」に該当しない外国人住民および、日本人住民で以下の場合はずべて「不一致」を設定する。

- ・「氏名」の文字数が異なる場合  
例) 「住民□太郎」と「住民□★★郎」
- ・「姓」と「名」のいずれかの文字数が異なる場合  
例) 「住□民太郎」と「住民□★郎」

### 2.1.3.2 「対象者氏名（かな）」を比較する。

#### (ア) 文字列全体を比較照合する。

(比較照合)

「じゅうみん□たろう」 <-> 「じゅうみん□たろう」

(照会結果)

「対象者氏名（かな）」 = 不一致

#### (イ) 外国人住民の場合かつ「(ア)」に該当しない場合は、部分一致の比較照合を行う。

(比較照合)

「ちゃん□ゆーりん\_ちゃん ゆーりん（やまだ はな）」 <-> 「やまだ」

(照会結果)

「対象者氏名（かな）」 = 部分一致

### 2.1.3.3 「住所」を比較する。

#### (ア) 「住所」に含まれる数字を抽出し比較する。

(比較照合)

「東京都千代田区一番町2-7-17□1401号室」 → 「127171401」

「東京都千代田区一番町2丁目7番17号★★★ビル1401」 → 「127171401」

(照会結果)

「住所（完全一致）」 = 住所番号が一致

## 2.2 照会手順の例

本節においては、住基ネットにおける照会手順の例を示す。

### 2.2.1 照会手順の例における前提条件

4 情報全てが条件指定された場合を例に、4 情報検索の手順を説明する。説明に用いる住基ネットの本人確認情報および照会条件の内容を以下に示す。

表 2-2 は、住基ネットで保持している本人確認情報の例、表 2-3 は表 2-2 の本人確認情報を引き当てるため、医療保険者等が準備する照会要求 CSV ファイルに設定された照会条件の例である。

表 2-2 住基ネットの本人確認情報（★は外字、□は空白）

本人確認情報項目	本人確認情報内容
対象者氏名	住★□太★
対象者氏名（かな）	じゅうみん□たろう
清音かな氏名	しゅうみん□たろお
生年月日	319600620(※)
性別	男（コードの値：「1」）
住所	東京都千代田区一番町2丁目7番17号★★★ビル1401
住所 市町村コード	13101

※照会結果として設定される生年月日は年号（元号）コードを含めた下記の形式で設定される。  
なお、外国人住民の年号（元号）コードは「9:西暦」固定となる。

英数字 9 桁 GYYYYMMDD

G : 年号コード 1 桁(1:明治 2:大正 3:昭和 4:平成 0:不明 9:西暦)、

YYYY : 西暦年 4 桁、 MM : 月 2 桁、 DD : 日 2 桁

表 2-3 照会条件項目（□は空白）

照会要求項目	照会要求内容
対象者氏名	住民□太郎
対象者氏名（かな）	じゅうみん□たろう
生年月日	19600620
性別	男（コードの値：「1」）
住所	東京都千代田区一番町2-7-17□1401号室
住所 市町村コード	13101

## 2.2.2 処理の例

### 2.2.2.1 抽出条件編集①

(ア) 与えられた照会条件項目(表 2-3)から、検索パターン番号「1」(表 2-1を参照)にもとづき抽出条件を編集する。

(抽出条件編集)

「対象者氏名」 = 「住民□太郎」  
「対象者氏名(かな)」 = 「じゅうみん□たろう」  
「生年月日」 = 「19600620」 → 「?19600620」 (※「?」は任意の1文字を表す)  
「性別」 = 「男」(コードの値:「1」)  
「住所」 = 「東京都千代田区一番町2-7-17□1401号室」  
「住所 市町村コード」 = 「13101」

外国人住民の場合は、「対象者氏名」および「対象者氏名(かな)」の文字列の前後に「\*」を付与する。  
(「\*」は任意の文字列を表す)

### 2.2.2.2 本人確認情報検索①

(ア) 編集した抽出条件にもとづき、本人確認情報レコードの抽出を行う。

(抽出条件)

「対象者氏名」 = 「住民□太郎」AND  
「対象者氏名(かな)」 = 「じゅうみん□たろう」AND  
「生年月日」 = 「?19600620」AND  
「性別」 = 「男」(コードの値:「1」)AND  
「住所」 = 「東京都千代田区一番町2-7-17□1401号室」AND  
「住所 市町村コード」 = 「13101」

(イ) 上記の抽出条件では前提条件で示した対象者氏名と住所が不一致のため、該当レコードが存在しない。

該当するレコードが存在しない場合、抽出条件を再編集(2.2.2.3 抽出条件編集②)し、再検索(2.2.2.4 本人確認情報検索②(あいまい検索))を行う。

### 2.2.2.3 抽出条件編集②

(ア) 与えられた照会条件項目（表 2-3）から、再検索時の検索パターン番号「25」（表 2-1 を参照）にもとづき抽出条件を編集する。

（抽出条件編集）

「清音かな」 = 「じゅうみん□たろう」 → 「しゅうみん□たろお」  
「生年月日」 = 「19600620」 → 「?19600620」  
「住所」 = 「東京都千代田区一番\*」  
「住所 市町村コード」 = 「13101」

外国人住民の場合は、「清音かな」の文字列の前後に「\*」を付与する。（「\*」は任意の文字列を表す）

### 2.2.2.4 本人確認情報検索②（あいまい検索）

(ア) 編集した抽出条件にもとづき、本人確認情報レコードの抽出を行う。

（抽出条件）

「清音かな」 = 「しゅうみん□たろお」 AND  
「生年月日」 = 「?19600620」 AND  
「住所」 = 「東京都千代田区一番\*」 AND （※「\*」は任意の文字列を表す）  
「住所 市町村コード」 = 「13101」

(イ) 該当するレコードが存在する場合、抽出データの照合を行う。

### 2.2.2.5 抽出データの照合

(ア) 「対象者氏名」を比較する。

① 文字全体を比較照合する。

(比較照合)

「住民□太郎」 <-> 「住★□太★」

(照会結果)

「対象者氏名」 = 不一致

② 文字全体を比較照合した結果、「不一致」となった場合、一文字ずつ比較する。

(比較照合)

「住民□太郎」 <-> 「住★□太★」

(照会結果)

「対象者氏名」 = 外字以外は一致、外字のみ不一致

(イ) 「対象者氏名 (かな)」を比較する。

① 文字全体を比較照合する。

(比較照合)

「じゅうみん□たろう」 <-> 「じゅうみん□たろう」

(照会結果)

「対象者氏名 (かな)」 = 不一致

(ウ) 「住所」を比較する。

① 「住所」に含まれる数字を抽出し比較する。

(比較照合)

「東京都千代田区一番町2-7-17□1401号室」 → 「127171401」

「東京都千代田区一番町2丁目7番17号★★★ビル1401」 → 「127171401」

(照会結果)

「住所 (完全一致)」 = 住所地番が一致



## 2.2.2.6 照会結果出力

照会要求項目毎の照会結果（一致・不一致の結果）は、コード値で表記され、このコード値のまとまりを「照会一致項目」と呼ぶ。

照会一致項目(※)に設定される内容を以下に示す。

※「照会一致項目」の内容については、「3.2「照会結果 CSV ファイル」」において後述する。

表 2-4 照会一致項目

照会要求項目	結果	コード値
対象者氏名	氏名外字以外は一致 氏名外字のみ不一致	2
対象者氏名（かな）	不一致	0
清音かな氏名	一致	1
生年月日	一致	1
性別	一致	1
住所完全一致	住所地番が一致	3
住所前方一致	一致	1
住所 市町村コード	一致	1

## 2.3 本人確認情報の提供パターンについて

基本4情報を利用した住基ネット検索においては、以下に示す「4情報一致」、「4情報最新」、「4情報一致・最新」という3種類の本人確認情報の提供パターンがある。平成28年10月より実施する医療保険者等の初期突合に係る対応においては、「4情報一致・最新」のパターンを採用することとし、指定された条件で検索した住民について、照会対象期間(※)内で該当した時点の本人確認情報と、最新の本人確認情報を提供する。

なお、原則として番号法施行（平成27年10月）以前の本人確認情報には、個人番号は含まれない。

※照会対象期間について

支払基金においてJ-LISへの照会要求ファイルを作成する日を基準とし、「作業当日から遡って5年間」とする。

表 2-5 提供パターン別の提供情報

提供パターン	提供する本人確認情報	備考
4情報一致	指定された条件で検索した住民について、該当した時点の本人確認情報を提供する。	指定された条件の4情報と照会結果の本人確認情報の4情報は一致する。
4情報最新	指定された条件で検索した住民について、照会対象期間内で最新の本人確認情報を提供する。	指定された条件の4情報と照会結果の本人確認情報の4情報は異なる場合がある。 (例えば、変更前の住所を検索条件に指定し、変更後の住所が提供される等)。
<u>4情報一致・最新</u>	<u>上記の「4情報一致」の照会結果と「4情報最新」の照会結果を提供する。</u>	<u>1人の住民について、必ず2レコード分の本人確認情報を提供する。</u>

## 2.4 「照会要求 CSV ファイル」作成時の留意事項

住基ネットにおける検索仕様は、以下の特徴を持つといえる。

- ✓ 住基ネットで保持する本人確認情報と照会条件が一致しなかった場合に「結果なし」とするのではなく、検索の条件を段階的に緩めた上で繰り返し本人確認情報を検索し、結果を返却する

上記の点を踏まえ、医療保険者等が「照会要求 CSV ファイル」を作成する上では、可能な限りの基本4情報を照会条件としてセットしておくことが望ましいといえる。

なお、条件を緩めて検索がなされた本人確認情報が返却されるため、以下の例のように想定以上に多くの本人確認情報が返却される可能性があることは認識しておく必要がある。この場合は、本人に問い合わせるなどして、医療保険者等の責任において対象者の本人確認情報を特定する必要がある。

[例] Aさんの基本4情報を照会条件として設定

→対象者氏名、住所の情報が合致せず、「清音かな」、「生年月日」の2情報での検索（検索パターン番号『27』）となり、住所が異なる5人の本人確認情報が返却された

### 3 「照会結果 CSV ファイル」のファイル仕様

本章では、「照会結果 CSV ファイル」のファイル仕様について示す。

#### 3.1 医療保険者等に返却される CSV ファイルの種類について

住基ネットから出力され、支払基金を経由して医療保険者等に返却される「照会結果 CSV ファイル」は、大きく①『照会結果 CSV ファイル』と②『桁あふれ情報結果 CSV ファイル(※)』の2種類に分類される。

また、医療保険者等による照会要求 CSV ファイル作成の際、住民区分（日本人住民／外国人住民）ごとにファイルを分けることが求められている（「照会要求 CSV ファイルチェックツール利用ガイド」（5.3.1 照会要求 CSV ファイル）参照）のと同様、返却される照会結果 CSV ファイルも、日本人住民と外国人住民の区別がなされ、別ファイルで返却される点に留意が必要である。

##### 【返却される CSV ファイルの種類】

- ① 「照会結果 CSV ファイル」
  - ・ 日本人住民用の照会結果 CSV ファイル
  - ・ 外国人住民用の照会結果 CSV ファイル
- ② 「桁あふれ情報結果 CSV ファイル」
  - ・ 日本人住民用の桁あふれ情報結果 CSV ファイル
  - ・ 外国人住民用の桁あふれ情報結果 CSV ファイル

※ 「桁あふれ情報」及び「桁あふれ情報結果 CSV ファイル」とは

住基ネットでは、本人確認情報の氏名の最大長を 100 文字と定めているが、外国人住民の氏名は 100 文字を超える可能性がある。また、地方公共団体で運用されている住基システムの仕様で、氏名の最大長が 100 文字未満となっている場合もある。前述のいずれかのケースで、外国人住民の氏名の長さが最大長を超えることを「桁あふれ」という。また、この「桁あふれ」に関する情報を「桁あふれ情報」という。

「桁あふれ情報結果 CSV ファイル」は、本人確認情報の検索結果に桁あふれ情報が存在する場合のみ、「照会結果 CSV ファイル」と共に提供される。

次節より、「照会結果 CSV ファイル」及び「桁あふれ情報結果 CSV ファイル」それぞれのファイル仕様を示す。

## 3.2 「照会結果 CSV ファイル」

### 3.2.1 ファイル名

照会結果 CSV ファイルのファイル名の命名規定を以下に示す。

**照会要求CSVファイルで設定した10桁**  
(保険者番号(半角数字8バイト)+ "N"又は"G"  
+ 任意の文字(半角英数1バイト))    **+**    **"K"**    **+**    **連番3桁**  
(000～)

### 3.2.2 レコードレイアウト

照会結果 CSV ファイルのレコードレイアウトを以下に示す。

なお、下表における「照会対象期間」については、前述のとおり、支払基金において J-LIS への照会要求ファイルを作成する日を基準とし、「作業当日から遡って5年間」とする。

また、照会結果 CSV ファイルの文字コードは Shift-JIS である。

表 3-1 照会結果 CSV ファイルのレコードレイアウト

項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
1	要求レコード番号	Char	7	照会要求のレコードに対して、連番で付与される番号。
2	—	Char	1	区切り文字。カンマ ("," ) 固定。
3	対象者氏名	Nchar	可変長	照会対象者の氏名。 最大 25 文字 (50 バイト)。
4	—	Char	1	区切り文字。カンマ ("," ) 固定。
5	対象者氏名 (かな)	Nchar	可変長	照会対象者の氏名 (かな)。 全角かな : 最大 25 文字 (50 バイト)
6	—	Char	1	区切り文字。カンマ ("," ) 固定。
7	対象者生年月日	Char	8	照会対象者の生年月日 (YYYYMMDD)。
8	—	Char	1	区切り文字。カンマ ("," ) 固定。
9	対象者性別	Char	1	照会対象者の性別コード。
10	—	Char	1	区切り文字。カンマ ("," ) 固定。

項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
11	対象者住所	Nchar	可変長	照会対象者の住所。最大50文字（100バイト）。
12	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
13	対象者住所（市町村コード）	Char	5	照会対象者の住所（市町村コード）。
14	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
15	対象者識別情報	Char	可変長	医療保険者等の保険者番号を識別するための情報。 保険者番号（半角数字8バイト） + ”_”（アンダースコア） + 任意の文字（半角英数55バイト以内） ※照会要求CSVファイルに設定した値がそのまま設定される サイズは最大64バイト。
16	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
17	処理結果コード	Char	4	処理結果を表すコード。コードの詳細は、「コード定義書」に示す。
18	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
19	照会結果レコード数	Char	3	1件の要求に対する照会結果レコードの件数（001～999）。最大100件。
20	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
21	照会結果レコード連番	Char	3	1件の要求に対する照会結果の連番（001～999）。
22	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
23	照会一致項目	Char	8	検索により該当した本人確認情報に関して、照会一致項目フラグを設定し、検索結果がどのような4情報の組合せで抽出されたかを表す。詳細は後述する。
24	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
25	異動有無	Char	1	検索により該当した本人確認情報に関して、照会対象期間における異動の有無等を表すコード。コードの詳細は、「コード定義書」に示す。
26	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
27	生存状況	Char	1	検索により該当した本人確認情報に関して、照会対象期間における生存状況を表すコード。コードの詳細は、「コード定義書」に示す。
28	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
29	変更状況	Char	2	検索により該当した本人確認情報に関して、氏名及び住所の変更の有無を表すコード。コードの詳細は、「コード定義書」に示す。
30	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。

項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
31	個人番号	Char	12	検索により該当した本人確認情報の個人番号。
32	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
33	住民票コード	Char	11	検索により該当した本人確認情報の住民票コード。
34	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
35	氏名	Nchar	可変長	検索により該当した本人確認情報の氏名。 最大100文字（200バイト）。
36	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
37	氏名（かな）	Nchar	可変長	検索により該当した本人確認情報の氏名（かな）。 全角かな：最大100文字（200バイト）
38	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
39	生年月日	Char	9	検索により該当した本人確認情報の生年月日。
40	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
41	性別	Char	1	検索により該当した本人確認情報の性別。
42	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
43	住所	Nchar	可変長	検索により該当した本人確認情報の住所。 最大200文字（400バイト）。
44	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
45	異動事由	Char	2	検索により該当した本人確認情報に関して、異動事由を表すコードが設定される。 日本人住民の異動事由コードは11～43、外国人住民の異動事由コードは61～93を設定。コードの詳細は、「コード定義書」に示す。
46	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
47	異動年月日	Char	8	検索により該当した本人確認情報に関する異動年月日。
48	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
49	氏名外字数	Char	3	外字情報は要求しない方針とするため、”000”が設定される。
50	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
51	住所外字数	Char	3	外字情報は要求しない方針とするため、”000”が設定される。
52	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。

項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
53	外字データレコード数	Char	3	外字情報は要求しない方針とするため、“000”が設定される。
54	—	Char	1	区切り文字。カンマ(“,”)固定。
55	市町村コード	Char	5	検索により該当した本人確認情報の市町村コード。
56	—	Char	1	区切り文字。カンマ(“,”)固定。
57	不参加団体対象フラグ	Char	1	住民基本台帳法の不参加団体の対象有無を表すコードであるが、2016年時点で不参加団体は存在しないため、“0”(参加団体)が設定される。
58	—	Char	1	区切り文字。カンマ(“,”)固定。
59	検索パターン番号	Char	2	該当する本人確認情報を特定した検索パターン番号が設定される。検索パターン番号の詳細は表 2-1 を参照。
60	改行コード	Char	2	CR+LF

### 3.2.1.1 提供パターンが4情報一致・最新の場合に設定される処理結果コードについて

提供パターンが4情報一致・最新の場合、偶数レコードに設定される処理結果コードは、奇数レコードの本人確認情報と偶数レコードの本人確認情報が同じ本人確認情報がどうかを識別するための処理結果コードが設定される。

表 3-2 提供パターン(4情報一致・最新)の処理結果コード

項番	処理結果コード		説明
	奇数レコード	偶数レコード	
1	0000 (該当有り) 0002 (複数該当)	0010 (4情報一致レコード)	1人の住民の本人確認情報について、奇数レコードと偶数レコードの内容が同一である。
		0011 (4情報不一致レコード)	1人の住民の本人確認情報について、奇数レコードと偶数レコードの内容が異なる状態である。(4情報が一致している場合でも、付随情報(異動事由、異動年月日)が異なる場合には、4情報不一致レコードとなる。)
2	上記以外	同左	奇数、偶数レコードともに同じ処理結果コードが設定される。



### 3.2.1.2 検索パターン番号の設定について

基本4情報を用いて検索により本人確認情報を検索する場合、「表 2-1 本人確認情報検索パターン」に従って、該当者が見つかるまで再検索を行う。医療保険者等においては、照会結果レコードに設定される「検索パターン番号」から、最終的にどのパターンで本人確認情報が該当したかが判別できる。

なお、「4 情報一致・最新」の場合は、1件の検索要求に対し、結果を2レコード（4情報が一致した情報と照会対象期間内で最新の情報）返却するが、検索パターン番号は2レコードとも同じ値を設定する。

### 3.2.1.3 照会結果の返却イメージについて

#### (ア) 照会結果が複数件となった場合の結果返却の基本的な考え方

要求条件1件に対し、複数件の結果を格納する場合は、要求レコード番号毎に照会結果レコード連番を付加した形で格納される。

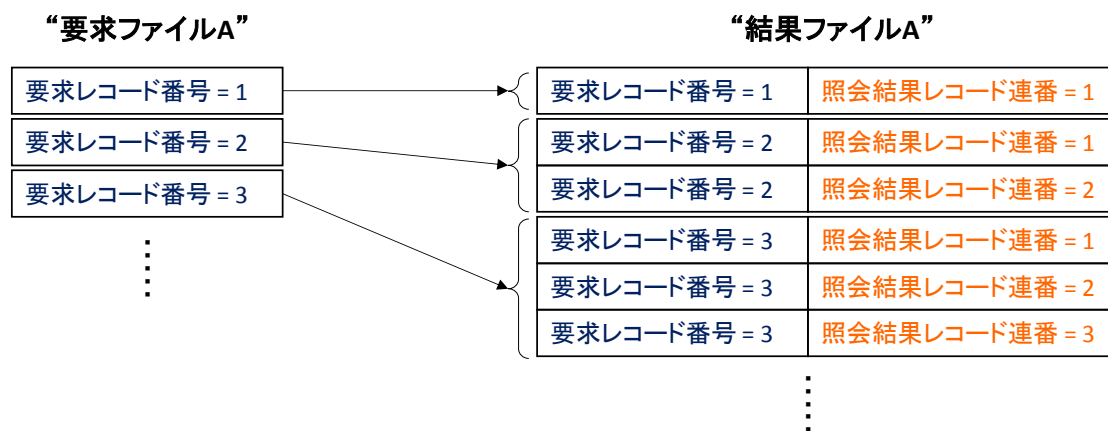


図 3-1 照会結果レコード設定

(イ) 提供パターン「4 情報一致・最新」の場合の結果返却イメージ

医療保険者等の初期突合対応における提供パターン「4 情報一致・最新」では、以下のイメージで結果が格納される。  
 なお、照会結果が複数件となった場合の最大レコード件数は、最大 100 件となる。



図 3-2 提供パターンが「4 情報一致・最新」のファイル構成 (処理結果コードが「該当有り」(0000) の場合)

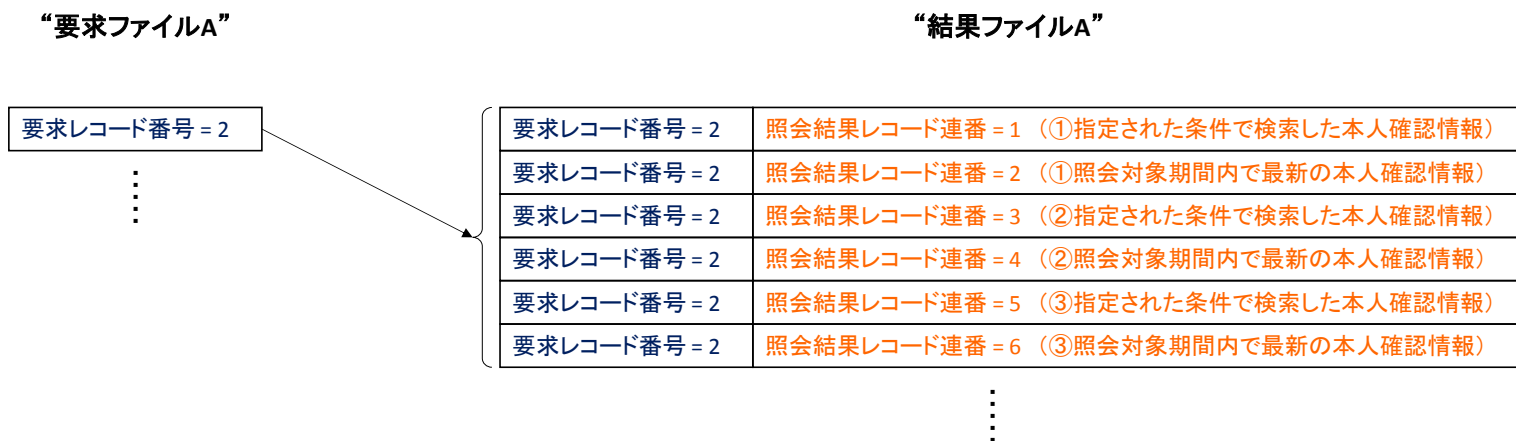


図 3-3 提供パターンが「4 情報一致・最新」のファイル構成 (処理結果コードが「複数該当」(0002) の場合)

### 3.2.1.4 照会一致項目について

#### (ア) 照会一致項目のレイアウト及び設定イメージ

4 情報検索による照会結果として本人確認情報と照会一致項目を返却する。照会一致項目には、4 情報に対する一致、不一致等を表すフラグ（照会一致項目フラグ）が設定される。

照会一致項目のレイアウトおよび設定イメージを以下に示す。

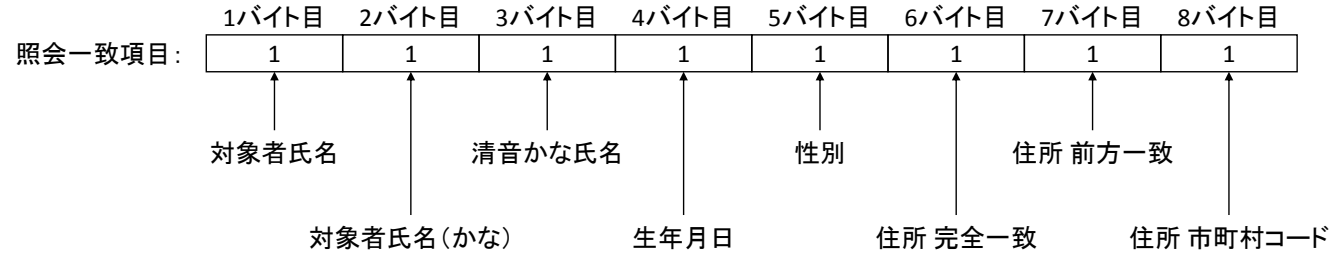


図 3-4 照会一致項目設定イメージ

(イ) 照会一致項目フラグ

照会一致項目に設定される照会一致項目フラグについて以下に示す。

表 3-3 照会一致項目フラグ

照会一致項目 フラグ	フラグ名称	説明
0	不一致	照会条件に指定された項目と、住民基本台帳データベースの内容が不一致であることを表す。
1	一致	照会条件に指定された項目と、住民基本台帳データベースの内容が一致することを表す。
2	氏名外字以外は一致 氏名外字のみ不一致	住民基本台帳データベースの「対象者氏名」に外字が含まれることにより、照会条件に指定された項目（文字コード）との比較が不可能な文字を含むことを表す。対象者氏名がすべて外字の場合も含む。
3	住所地番が一致	住所（漢字項目）の前方一致検索により抽出された本人確認情報を比較し、住所に含まれる地番等の数字部分が一致したことを表す。
4	部分一致	照会条件に指定された項目と、住民基本台帳データベースの内容が部分一致することを表す。
9	条件未指定のため不明	照会条件が指定されていないため、比較不可能であることを表す。

(ウ) 照会一致項目フラグの設定値

照会条件として指定された項目（表 3-4）に対して設定される照会一致項目について説明する。

表 3-4 4 情報照会可能な項目の組合せ

No	項目				
	対象者氏名	対象者氏名(かな)	生年月日	性別	住所 (漢字+市町村コード)
1	○	○	○	○	○
2	○	○	○	-	○
3	○	○	○	○	-
4	○	○	○	-	-
5	○	○	-	○	○
6	○	○	-	-	○
7	○	-	○	○	○
8	○	-	○	-	○
9	○	-	○	○	-
10	○	-	○	-	-
11	○	-	-	○	○
12	○	-	-	-	○
13	-	○	○	○	○
14	-	○	○	-	○
15	-	○	○	○	-
16	-	○	○	-	-
17	-	○	-	○	○
18	-	○	-	-	○

①対象者氏名、対象者氏名(かな)、清音かな氏名(照会一致項目フィールド:1バイト目~3バイト目)

照会条件の氏名に指定可能な項目の組合せは「対象者氏名」のみ、「対象者氏名(かな)」のみ、「対象者氏名+対象者氏名(かな)」の3種類である。照会一致項目として設定される値を以下に示す。

(A) 氏名に関する照会条件指定項目が「対象者氏名」のみの場合（表 3-4：項番 7～12）

(a) 日本人住民の場合

表 3-5 照会一致項目設定値（対象者氏名）日本人住民

項番	対象者氏名	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	備考
1	1	9	9	対象者氏名一致

(b) 外国人住民の場合

表 3-6 照会一致項目設定値（対象者氏名）外国人住民

項番	対象者氏名	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	備考
1	1	9	9	対象者氏名一致
2	4	9	9	対象者氏名部分一致

(B) 氏名に関する照会条件指定項目が「対象者氏名(かな)」のみの場合（表 3-4：項番 13～18）

(a) 日本人住民の場合

表 3-7 照会一致項目設定値（対象者氏名(かな)）日本人住民

項番	対象者氏名	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	備考
1	9	1	1	対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
2	9	0	1	対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致

(b) 外国人住民の場合

表 3-8 照会一致項目設定値（対象者氏名(かな)）外国人住民

項番	対象者氏名	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	備考
1	9	1	1	対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
2	9	0	1	対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
3	9	4	4	対象者氏名(かな)部分一致、清音かな部分一致
4	9	0	4	対象者氏名(かな)不一致、清音かな部分一致

(C) 氏名に関する照会条件指定項目が「対象者氏名+対象者氏名(かな)」の場合(表 3-4: 項番 1~6)

(a) 日本人住民の場合

表 3-9 照会一致項目設定値(対象者氏名+対象者氏名(かな))日本人住民

項番	対象者氏名	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	備考
1	1	1	1	対象者氏名一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
2	1	0	1	対象者氏名一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
3	2	1	1	氏名外字不一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
4	2	0	1	氏名外字不一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
5	0	1	1	対象者氏名不一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
6	0	0	1	対象者氏名不一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致

(b) 外国人住民の場合

表 3-10 照会一致項目設定値（対象者氏名＋対象者氏名（かな）外国人住民

項番	対象者氏名	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	備考
1	1	1	1	対象者氏名一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
2	1	0	1	対象者氏名一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
3	2	1	1	氏名外字不一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
4	2	0	1	氏名外字不一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
5	0	1	1	対象者氏名不一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
6	0	0	1	対象者氏名不一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
7	4	1	1	対象者氏名部分一致、対象者氏名(かな)一致、清音かな一致
8	4	0	1	対象者氏名部分一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな一致
9	1	4	4	対象者氏名一致、対象者氏名(かな)部分一致、清音かな部分一致
10	1	0	4	対象者氏名一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな部分一致
11	2	4	4	氏名外字不一致、対象者氏名(かな)部分一致、清音かな部分一致
12	2	0	4	氏名外字不一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな部分一致
13	0	4	4	対象者氏名不一致、対象者氏名(かな)部分一致、清音かな部分一致
14	0	0	4	対象者氏名不一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな部分一致
15	4	4	4	対象者氏名部分一致、対象者氏名(かな)部分一致、清音かな部分一致
16	4	0	4	対象者氏名部分一致、対象者氏名(かな)不一致、清音かな部分一致



②生年月日（照会一致項目フィールド：4 バイト目）

照会条件の生年月日に指定される内容は、西暦年月日または、「上旬」「中旬」「不明」などの値である。照会一致項目として設定される値を以下に示す。

表 3-11 照会一致項目設定値（生年月日）

項番	生年月日	備考
1	1	生年月日一致
2	0	生年月日不一致
3	9	生年月日未指定

③性別（照会一致項目フィールド：5 バイト目）

照会条件の性別に指定される内容は、「男」「女」「不明」の3種類のみである。照会一致項目として設定される値を以下に示す。

表 3-12 照会一致項目設定値（性別）

項番	性別	備考
1	1	性別一致
2	0	性別不一致
3	9	性別未指定

④住所完全一致、住所前方一致、市町村コード（照会一致項目フィールド：6 バイト目～8 バイト目）

照会条件の「住所」に指定される内容は、「住所」と「市町村コード」であり、照会一致項目として設定される値を以下に示す。

表 3-13 照会一致項目設定値（住所）

項番	住所 完全一致	住所 前方一致	市町村コード	備考
1	1	1	1	住所完全一致、住所前方一致、市町村コード一致
2	3	1	1	住所地番一致、住所前方一致、市町村コード一致
3	0	1	1	住所完全不一致、住所前方一致、市町村コード一致
4	0	0	1	住所完全不一致、住所前方不一致、市町村コード一致
5	0	0	0	住所完全不一致、住所前方不一致、市町村コード不一致
6	9	9	9	住所完全未指定、住所前方未指定、市町村コード未指定

(エ) 照会一致項目の注意事項

①対象者氏名（かな）、清音かな氏名に関する照会一致項目の注意事項

住基ネットでは保有する本人確認情報のうち、対象者氏名（かな）または清音かな氏名については登録されていない場合がある。医療保険者等の照会要求で設定された対象者氏名（かな）と、住基ネット側の対象者氏名（かな）および清音かな氏名の登録有無により、照会一致項目に設定される値を以下に示す。

表 3-14 かな氏名、清音かな氏名に関する照会一致項目

項番	医療保険者等の照会条件	住基ネットで保有する情報		照会一致項目	
	対象者氏名(かな)	対象者氏名(かな)	清音かな氏名	かな氏名	清音かな氏名
1	○	○	○	1	1
				0	1
2	○	○	-	1	0
				0	0
3	○	-	-	9	9
4	-	○	○	9	9
5	-	○	-	9	9
6	-	-	-	9	9

②住所に関する照会一致項目の注意事項

4 情報検索において住所に関する照会条件には住所と市町村コードがあり、入力する場合には両方の項目を設定することを必須としている。しかし、住所に関する照会条件が片方しか設定されなかった場合には、単純に組合せ不正(9005)とはせず、住所に関する照会条件以外での検索が可能な場合には照会一致項目を設定する。

住所と市町村コードに関する照会条件の設定有無と処理内容を「表 4-13」に示す。

表 3-15 住所に関する照会条件と処理内容

ケース	照会条件		処理内容
	住所	市町村コード	
1	○	○	検索処理を行い、該当者が抽出された場合は、照会一致項目を設定する。
2	○	-	他の検索条件で該当者が抽出された場合は、住所の比較を行い、照会一致項目を設定する。
3	-	○	また、すべての検索条件で該当者が抽出されなかった場合は、「該当者なし(0001)」となる。
4	-	-	他の検索条件で処理を行う。

上記で示したケース別に照会一致項目の設定内容を示す。

(A) ケース 1：住所および市町村コードを設定した場合

表 3-16 ケース 1 の住所に関する照会一致項目

項番	完全一致	前方一致	市町村コード	備考
1	1	1	1	完全一致
2	3	1	1	地番一致
3	0	1	1	前方一致
4	0	0	1	市町村コード一致
5	1	0	0	住所完全一致、市町村コード不一致 →市町村コードマスタに登録されているが、誤った市町村コードを設定した場合。
6	0	0	0	不一致

※設定された市町村コードが市町村コードマスタに登録されていない場合は(B)を参照。

(B) ケース 2：市町村コード未設定の場合

表 3-17 ケース 2 の住所に関する照会一致項目

項番	完全一致	前方一致	市町村コード	備考
1	1	9	9	住所のみ完全一致
2	0	9	9	住所のみ不一致

※市町村コードマスタに登録されていない市町村コードを設定した場合も、市町村コード未設定の場合に含む。

(C) ケース 3 : 住所未設定の場合

表 3-18 ケース 3 の住所に関する照会一致項目

項番	完全一致	前方一致	市町村コード	備考
1	9	9	1	市町村コードのみ一致
2	9	9	0	市町村コードのみ不一致 →市町村コードマスタに登録されているが、誤った市町村コードを設定した場合。
3	9	9	9	市町村コード未設定 →市町村コードマスタに登録されていない市町村コードを設定した場合。

(D) ケース 4 : 住所および市町村コードが未設定の場合

表 3-19 ケース 4 の住所に関する照会一致項目

項番	完全一致	前方一致	市町村コード	備考
1	9	9	9	未設定

### ③前方一致について

通常、照会一致項目の前方一致フラグは、市町村名+2文字まで一致していれば、前方一致フラグに一致を設定する。

例) 全国センターの住所：「東京都千代田区一番町2丁目7番地17号」

①照会条件の住所：「東京都千代田区一番町」

→上記の場合の照会一致項目：「011」

②照会条件の住所：「東京都千代田区一番」

→上記の場合の照会一致項目：「011」

しかし、照会条件の住所が市町村名+2文字に満たない場合は、市町村名まで一致していれば、前方一致フラグに一致を設定する。

例) 全国センターの住所：「東京都千代田区一番町2丁目7番地17号」

①照会条件の住所：「東京都千代田区一」

→上記の場合の照会一致項目：「011」

②照会条件の住所：「東京都千代田区」

→上記の場合の照会一致項目：「011」

③照会条件の住所：「東京都千代田」

→上記の場合の照会一致項目：「001」(前方一致にはならない)

### ④部分一致について

一括提供方式による情報提供では、外国人住民の「対象者氏名」、「対象者氏名(かな)」および「清音かな」を使用した検索については、部分一致でレコード抽出を行う。

照会一致項目の対象者氏名フラグ、対象者氏名(かな)フラグ、清音かな氏名フラグは、住基ネットの照会結果文字列に、照会条件の文字列と一致する文字列が見つかった場合に、部分一致を設定する。

例) 全国センターの対象者氏名：「ZHANG YULIAN\_張 玉連(山田 花)」

①照会条件の対象者氏名：「ZHANG YULIAN\_張 玉連(山田 花)」

→上記の場合の照会一致項目：「1(完全一致)」

②照会条件の対象者氏名：「ZHANG YULIAN\_★玉連(山田 花)」(★は外字を示す)

→上記の場合の照会一致項目：「2(氏名外字不一致)」

③照会条件の対象者氏名：「ZHANG YULIAN」

→上記の場合の照会一致項目：「4(部分一致)」

- ④照会条件の対象者氏名 :「山田」  
→上記の場合の照会一致項目:「4 (部分一致)」
- ⑤照会条件の対象者氏名 :「IAN\_張」  
→上記の場合の照会一致項目:「4 (部分一致)」

※対象者氏名 (かな) と清音かなも同様の判定方法となる。

・外国人住民の氏名における部分一致、完全一致について

外国人住民の「氏名漢字」は、「アルファベット氏名」「漢字氏名」「通称」の3つの要素と要素間等に明示する「全角のセパレート文字」「全角の括弧」「終端記号」により構成される。また、外国人住民の「対象者氏名 (かな)」は、「アルファベット氏名かな」「漢字氏名かな」「通称かな」の3つの要素と要素間等に明示する「全角のセパレート文字」「全角の括弧」「終端記号」により構成される。外国人住民の氏名における部分一致、完全一致とは、要素ごとの一致ではなく、要素間等に明示する文字等を含めた要素構成後の文字列に対しての部分一致、完全一致を指す。

### 3.2.3 本人確認情報に外字が含まれる場合の返却データについて

本人確認情報の氏名または住所に外字が含まれる場合、照会結果 CSV ファイルにおいては該当する文字が「●」に変換され、返却される。

### 3.3 桁あふれ情報結果 CSV ファイル

桁あふれ情報結果 CSV ファイルは「桁あふれ情報結果ファイル」を CSV 形式（カンマ区切り）に変換したファイルである。  
なお、桁あふれ情報結果 CSV ファイルの文字コードは Shift-JIS である。

#### 3.3.1 ファイル名

桁あふれ情報 CSV 結果ファイルのファイル名の命名規定を以下に示す。

**照会要求CSVファイルで設定した10桁**  
**(保険者番号(半角数字8バイト)+ "N"又は"G"**     **+**     **"OVR"**  
**+ 任意の文字(半角英数1バイト))**

#### 3.3.2 レコードレイアウト

桁あふれ情報結果 CSV ファイルのレコードレイアウトを以下に示す。

表 3-20 桁あふれ情報結果 CSV ファイルのレコードレイアウト

項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
1	要求レコード番号	Char	7	照会要求のレコードに対して、連番で付与される番号。 本人確認情報照会結果ファイルの照会結果レコードと桁あふれ情報結果ファイルの桁あふれ照会結果レコードは、要求レコード番号と照会結果レコード連番で対応付ける。
2	—	Char	1	区切り文字。カンマ（“,”）固定。
3	照会結果レコード連番	Char	3	1件の要求に対する照会結果の連番（001～999）。
4	—	Char	1	区切り文字。カンマ（“,”）固定。
5	対象者識別情報	Char	可変長	医療保険者等の保険者番号を識別するための情報。 保険者番号（半角数字 8 バイト） + “_”（アンダースコア） + 任意の文字（半角英数 55 バイト以内） ※照会要求 CSV ファイルに設定した値がそのまま設定される サイズは最大 64 バイト。

項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
6	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
7	処理結果コード	Char	4	該当有り（0000）、該当無し（0001）、複数該当（0002）、最大件数超過（0004）、レコード不正（9003）のいずれかが設定される。
8	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
9	桁あふれ結果レコード数	Char	3	桁あふれ結果レコードの件数が設定される。（001～999） 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。
10	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
11	桁あふれ結果レコード連番	Char	3	桁あふれ結果レコードの件数が設定される。（001～999） 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。
12	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
13	住民票コード	Char	11	桁あふれ情報の住民票コードが設定される。 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。
14	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
15	対象者氏名	Nchar	可変長	桁あふれ情報の対象者氏名が設定される。 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。 最大 100 文字（200 バイト）。
16	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
17	桁あふれ氏名	Nchar	可変長	桁あふれ情報の桁あふれ氏名が設定される。 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。 最大 30 文字（60 バイト）。
18	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
19	市町村コード	Char	5	桁あふれ情報の市町村コードが設定される。 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。
20	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
21	異動年月日	Char	8	桁あふれ情報の異動年月日が設定される。 処理結果コードが該当無し（0001）、レコード不正（9003）の場合は、空白を設定。
22	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
23	対象者氏名外字数	Char	3	外字情報は要求しない方針とするため、” 000” が設定される。



項番	項目名	属性	サイズ (byte)	備考
24	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
25	桁あふれ氏名外字数	Char	3	外字情報は要求しない方針とするため、”000”が設定される。
26	—	Char	1	区切り文字。カンマ（”,”）固定。
27	外字データレコード数	Char	3	外字情報は要求しない方針とするため、”000”が設定される。
28	改行コード	Char	2	CR+LF

### 3.3.3 桁あふれ情報に外字が含まれる場合の返却データについて

桁あふれ情報の氏名に外字が含まれる場合、照会結果 CSV ファイルにおいては該当する文字が「●」に変換され、返却される。

### 3.4 コード定義書

#### 3.4.1 年号

コード名	日本語名	年号	コード体系				
	英字名		X	①			
<input type="checkbox"/> コードの説明 和暦年号（元号）を表わす。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し	項番	コード	属性	桁数	備考		
	①	年号	Char	1			
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
	⑧						
<input type="checkbox"/> コード設定							
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容		
1	0	不明					
2	1	明治					
3	2	大正					
4	3	昭和					
5	4	平成					
6	9	西暦 ※外国人住民の場合に設定する。					

### 3.4.2 月

コード名	日本語名	月	コード体系					
	英字名		XX					
<input type="checkbox"/> コードの説明 月を識別する。  <input type="checkbox"/> 特記事項 01～12は、1月～12月を表す。			①					
	項番	コード	属性	桁数	備考			
	①	月	Char	2				
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
⑧								
<input type="checkbox"/> コード設定								
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容			
1	00	不明						
2	A1	春						
3	A2	夏						
4	A3	秋						
5	A4	冬						

### 3.4.3 日

コード名	日本語名	日	コード体系					
	英字名		XX					
<input type="checkbox"/> コードの説明 日を識別する。  <input type="checkbox"/> 特記事項 01～31は、1日～31日を表す。			①					
			項番	コード	属性	桁数	備考	
			①	日	Char	2		
			②					
			③					
			④					
			⑤					
			⑥					
			⑦					
		⑧						
<input type="checkbox"/> コード設定								
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容			
1	00	不明						
2	A1	上旬						
3	A2	中旬						
4	A3	下旬						

### 3.4.4 性別

コード名	日本語名	性別	コード体系				
	英字名		X	①			
<input type="checkbox"/> コードの説明 男女を識別する。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し	項番	コード	属性	桁数	備考		
	①	性別	Char	1			
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
	⑧						
<input type="checkbox"/> コード設定							
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容		
1	1	男					
2	2	女					
3	3	不明					

### 3.4.5 異動事由

コード名	日本語名	異動事由	コード体系				
	英字名		XX				
<input type="checkbox"/> コードの説明 市町村で住民基本台帳へ届出等により記載が行われた際の事由として、本人確認情報の付随情報として使用する。	<input type="checkbox"/> 特記事項 日本人住民の異動事由コードは、項番 1～14 が設定される。 外国人住民の異動事由コードは、項番 15～28 が設定される。	①	項番	コード	属性	桁数	備考
		②	1	異動事由	Char	2	
		③					
		④					
		⑤					
		⑥					
		⑦					
		⑧					
		<input type="checkbox"/> コード設定					
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容		
1	11	転入等	15	61	転入等		
2	12	出生	16	62	出生		
3	13	職権記載等	17	63	職権記載等		
4	21	転出	18	71	転出		
5	22	死亡	19	72	死亡		
6	23	職権消除等	20	73	職権消除等		
7	31	転居	21	81	転居		
8	32	職権修正等	22	82	職権修正等		
9	33	住民票コードの変更請求	23	83	住民票コードの変更請求		
10	34	住民票コードの職権記載等	24	84	住民票コードの職権記載等		
11	35	軽微な修正	25	85	軽微な修正		
12	41	個人番号の変更請求	26	91	個人番号の変更請求		
13	42	個人番号の職権記載等	27	92	個人番号の職権記載等		
14	43	個人番号の職権修正等	28	93	個人番号の職権修正等		

### 3.4.6 処理結果コード

コード名	日本語名	処理結果コード	コード体系					
	英字名		XXXX					
<input type="checkbox"/> コードの説明 情報提供の処理結果を表す。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し			①					
	項番	コード	属性	桁数	備考			
	①	情報提供の処理結果	Char	4				
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
⑧								
<input type="checkbox"/> コード設定								
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容			
1	0000	該当有り	11	9004	期間指定誤り			
2	0001	該当無し	12	9005	検索条件組合せ不正			
3	0002	複数該当	13	9006	個人番号誤り			
4	0003	複数該当（提供なし）	14	9007	事務区分組合せ不正			
5	0004	最大件数超過	15	9008	住民票コード利用不可			
6	0010	4 情報一致レコード	16	9101	提供先コード不正			
7	0011	4 情報不一致レコード	17	9102	事務区分コード不正			
8	9001	住民票コード誤り	18	9104	個人番号提供事務区分コード不正			
9	9002	指定コード誤り						
10	9003	レコード不正						

### 3.4.7 生存状況

コード名	日本語名	生存状況	コード体系				
	英字名		X				
<input type="checkbox"/> コードの説明 生存状況を表す。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し			①				
			項番	コード	属性	桁数	備考
			①	生存状況	Char	1	
			②				
			③				
			④				
			⑤				
			⑥				
			⑦				
		⑧					
<input type="checkbox"/> コード設定							
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容		
1	0	生存					
2	1	死亡					
3	2	不明					



### 3.4.8 変更状況

コード名	日本語名	変更状況	コード体系					
	英字名		XX					
<input type="checkbox"/> コードの説明 氏名及び住所の変更状況を表す。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し			①	項番	コード	属性	桁数	備考
			②	①	変更状況	Char	2	
			③	②				
			④	③				
			⑤	④				
			⑥	⑤				
			⑦	⑥				
			⑧	⑦				
			<input type="checkbox"/> コード設定					
項番	コードの値		コードの内容		項番	コードの値		コードの内容
1	00		変更無し					
2	01		氏名変更有り					
3	02		住所変更有り					
4	03		氏名・住所変更有り					

### 3.4.9 異動有無

コード名	日本語名	異動有無	コード体系				
	英字名		X				
<input type="checkbox"/> コードの説明 異動の有無を表す。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し			①				
	項番	コード	属性	桁数	備考		
	①	異動有無	Char	1			
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
	⑦						
⑧							
<input type="checkbox"/> コード設定							
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容		
1	0	異動無し					
2	1	異動有り					
3	2	不明					

### 3.4.10 照会一致項目フラグ

コード名	日本語名	照会一致項目フラグ	コード体系					
	英字名		X					
<input type="checkbox"/> コードの説明 照会結果において、照会条件に一致した項目を表す。  <input type="checkbox"/> 特記事項 無し			①					
	項番	コード	属性	桁数	備考			
	①	照会一致項目フラグ	Char	1				
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
	⑦							
⑧								
<input type="checkbox"/> コード設定								
項番	コードの値	コードの内容	項番	コードの値	コードの内容			
1	0	不一致						
2	1	一致						
3	2	外字以外は一致、外字のみ不一致						
4	3	住所地番一致						
5	4	部分一致 ※外国人住民の場合に設定する。						
6	9	未設定						